

みの～れは自慢したくなるどころです！



四季文化館企画実行委員
サーカスプロジェクト実行委員

ふじえだ ゆうこ

藤枝裕子 さん

「人の縁っておもしろいですね」
と話す藤枝さん

みの～れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.160

冬の訪れを告げる使者のコハクチョウが池花池に飛来しました。まだ先発隊の数を増やして、『コウツ』と鳴く声や優雅な舞を見ることが出来ます。また、山茶花の花は秋から冬にかけて咲き、長い間私たちの目を楽しませてくれますね。11月3日はみよりの18歳の誕生日。皆さんの愛情をたっぷり受けて健やかに大きくなりました。今回は四季文化館企画実行委員とサーカスプロジェクトのメンバーで石岡市にお住いの藤枝裕子さん取材します。

藤枝さんにみの～れとの出会いを聞いてみました。「みの～れの企画実行委員になって初めて足を踏み入れました。小美玉市・石岡市・かすみがうら市の青年会議所で、みの～れはすごくいい所と聞いていたので来てみたかった場所です。私が青年会議所に入った時のセミナーで小美玉市地域文化コーディネーターで、企画実行委員長を務める枝見さんのお話を聞いたときにとっても感動しました。枝見さんがマザー・テレサにお会いしたことがあると聞いた時に、私は田舎に住んでいるのに、こんなに身近なところで、人とお会いしたことがある人と出逢えたことに驚きました。枝見さんから企画実行委員にと声をかけていただいた時に、青年会議所で知り合った中村さんが企画実行委員のメンバーで『みの～れには専門の人がたくさんいて、すべてが面白い所だよ』と言われて流されるままに入ってしまったというところ。仕事の都合で会議を休むこともあって本当に申し訳ないのですが、続けさせてもらっています」と笑顔で

話してくれました。

「子どもの頃、人と話すのがあまり得意じゃなくて・・・私が小学校に入学したときに母が私をガールスカウトに入れました。小学校から高校まで入っていたのでボランティアが身近にありましたね。中学生から水戸で行われた水質汚染の会議などにも出ていましたね。いつもありがたいことに、なにかやろうと思つた時やふつふつしている時に人に助けてもらっています。みの～れなどでボランティアをしていると誰かに相談できるっていうところがいいですね」と懐かしそうに話してくれました。

藤枝さんに趣味を聞いてみました。「仕事が趣味になっていると思います。父が私が生まれた時にサラリーマンを辞めて保険の仕事を始めました。私は保険の仕事に就く前はフィットネスクラブでインストラクターをやっていました。この仕事が楽しくて、いざれば自分で資格を取って経営しようと思っていたくらいです。私が保険の仕事に就いたきっかけは、5年に一回代理店監査があって、

会社の経営理念を父は『この仕事は天職』と言ったんですね。その言葉にジーンときて、改めて父と母を尊敬したんですね。最初は書類整理を手伝っていたんですけど、気が付いたら研修生になっていてそのまま気が付いたら私はフィットネスクラブを辞めていました(笑)と話してくれました。

「企画実行委員は、企画から立ち上げることができるのがすごいんですね。石岡市だけにいた経験できなかったこと。みの～れは間口が広いですね。小美玉の方のノリの良さが好きです。みの～れって自慢したくなる、誰かに言いたくなる場所ですね。それから、館長は、本職が館長だと思っていたんですけど(笑)。でも家でもお仕事があるんですよ。いくつになっても勉強していますよ」と笑って話す藤枝さんは、たくさんの引き出しを持っていて会議の時に、『こういうのがあるんですけど、こんな風に取り入れてみたらどうですか?』など意見を出してくれて、引き出しの中身が楽しみです。(藤田佐知子)